

地域社会貢献者賞

三浦造船所会長

三浦 政信氏



に兄3人で創業した三浦造船に、造船企業としての責任と使命を託され、造船企業、顧客の要望に応じたオーダーメイド設計・建造に特化した造船技術センターを設立。同センターでは造船企業のOBが講師を務め、新人、若手社員の教育に取り組む。また、日本赤十字社や地域の小学校・図書館などへの寄付活動も行う。造船業界で問題とな

フセラシ会長

嶋田 巨氏



自動車関連部品を中心とした精密ナットを扱う。30年以上、社長を務め、優良企業に発展させた。米国、中国、タイに進出し、海外生産を行うなど、積極的な事業展開を行っている。自社の発展だけでなく、東大阪商工会議所の議員に就任するなど、地元地域の経済発展のために献身的な活動を継続して行う。また、日本ねじ工業協会の役員を歴任し、業界の発展にも寄与する。こうした活動は経済界から高く評価されている。

震災復興支援賞

マイヤ社長

米谷 春夫氏



東日本大震災では食品スーパー16店舗のうち6店舗が全半壊。津波被害で一時孤立した店舗では被災者の救済、店内の飲料・食料品の提供を行った。津波被害を受けた店舗も新規出店し、被災地に密着した店舗網の再建状況下でも、住民の食を果たす。

内野製作所社長

内野 徳昭氏



顧客視点で歯車を製造。国内市場を重要視し、自動車メーカーの研究開発部門を主な顧客とする。人材育成、ネットワーク構築、経営力強化などに取り組む。次世代工業研究会「次世代工業研究会」の発足に中核メンバーとして携わり、地元である東京都八王子の経済活性化に寄与してきた。子ども向け工場見学、地元大学での講師を務めるなど地域住民との関わりも重視している。環境に配慮した工場を新設し、明るい社屋で従業員が働きたいと思える職場に整備した。

宇都宮工業会長

土井 義昭氏



自動車部品、住宅用金物部品などを扱い、大手企業が手がけることのできない独自技術を持つ技術者集団に育て上げた。大手メーカーからの評価が高い。地元愛知の豊川商工会議所、ライオンズクラブの役員を務め、社会貢献に尽力してきた。秋田県からの要請に応え、子会社を秋田市に設立するなど、地方の産業振興と雇用創出に取り組む。地元地域への寄付活動も積極的に進めている。

山本忠信商店代表取締役

山本 英明氏



北海道十勝を中心に、大豆の産地として発展する。豆類の開設に設備を有効活用するため、地元生産者から小麦の集荷・精選を開始し、主力事業を確立した。2011年に製粉工場を建設し、安心安全な国産小麦の付加価値を高めた出荷に取り組む。生産者と販売者の距離を近づけるための交流会も行っている。北海道の農産物をシンガポールに輸出販売する活動にも積極的に取り組む。十勝の発展と地域活性化に貢献する。

カネキ吉田商店代表取締役

吉田 信吾氏



確化し、約1年後には主要工場を再建した。水産加工業には地域の冷凍冷蔵倉庫設備の復旧が必要不可欠。そこで、中心となって協賛組合を設立し、冷凍倉庫を建設した。いまでは共同保管施設として活用され、水産業復興をけん引した。

宮城三菱自動車販売会長

千田 満穂氏



自動車修理のバンク工場として創業。その後、三菱自動車のディーラーとして企業発展し、地域貢献に尽力してきた。営業社員に粗利益額を把握させることで、安定した売り上げと利益確保に成功。ディーラー間の過度な価格競争を抑制するためディーラーの集約を進め、適正な利益を確保できる体制づくりに取り組む。東日本大震災では津波の被害に遭ったが、発生当日には車両100台を確保し、即座に顧客などに対し無償貸与を実施した。

しのはらプレスサービス社長

篠原 敬治氏



生まれ変わらず「レットロフィット」に取り組む。4000機種以上の修理・改造の実績を持ち、大手企業をはじめとする顧客からの信頼は厚い。2013年にはIHIと協業するなど、ライフサイクル全般にわたるトータルソリューションの提案にも取り組み、活動範囲を拡大する。

伊藤製作所社長

伊藤 澄夫氏



金型メーカーで、順送り金型に特化したプレス部品加工技術を得意とする。蓄積したノウハウで、韓国の大学で講演するなど、国内外でも人材育成に貢献する。

コトブキ相談役

馬場 均氏



が、従事者の負担を大幅に軽減し、好評を得た。また、顧客に適した製品・サービスを提供するなど、商社だけでなくメーカーの顔も持ち合わせたエンジニアリング会社として活躍する。東日本大震災後、海水に浸った顧客の機械を無償でメンテナンスし、早期復興に貢献した。

矢部川電気工業社長

阪本 一平氏



研究開発に対する意欲が強く、研究機関などとの連携でアルミ高純度制御装置の制御盤などの製品開発、サービス提案などの技術革新を進める。環境、農業など幅広い分野にわたる技術を持つ。

中日本炉工業代表取締役

後藤 峰男氏



金型や金属部品などの強度を高めるための熱処理や、商品開発時に使用する実験炉などの工業炉の設計・製造を行う。開発した真空熱処理炉は熱処理工程において大きな課題であった加工物の酸化に伴うさびの発生による精度低下の問題を解決する。小型真空熱処理炉は日本だけでなく、東南アジアを中心とした国外からの受注が絶えない。ユザー目線で技術研究に励み、全国の中堅・中小企業、製造業の発展に貢献する。

協同代表取締役

守屋 京子氏



阪神・淡路大震災をきっかけに守屋勇治氏(現会長)が開発した瞬間発熱剤「モリアンヒートパック」は水を注ぐだけで高温の蒸気が発生し、短時間で飲食物を加熱調理できる。使用後は一般ゴミとして廃棄で安全・環境面に配慮している。守屋代表取締役は同製品の営業に奮闘し、自衛隊や官公庁の備蓄、小売店などの販路を確立した。東日本大震災の被災地支援、海外の軍隊での採用など成果を挙げている。

西精工社長

西 泰宏氏



微細加工・冷間鍛造など独自技術を生かしたパーツ・ナットを製造し、国内外の自動車、航空機などの業界に供給する。従業員とのコミュニケーションを大切にし、毎日の朝礼や勉強会など人間力を育てる企業風土を確立した。また、企業と社員が共通の目標を掲げることで生産性の向上に努めている。

岩田製作所代表取締役

岩田 修造氏



産業界ロボット、食品機械などの部品メーカーで社員一人ひとりがアイデアを出してニッチな製品を多数開発している。特注品にも入れなども行う。

地域社会貢献者賞

内野 徳昭

株式会社内野製作所 社長

〒一九二一〇〇〇一
東京都八王子市戸吹町二〇五
☎〇四二(六九六) 六二一〇

土井 義昭

宇都宮工業株式会社 会長

〒四四一〇二二二
愛知県豊川市一宮町上新切五〇四
☎〇五三三(九三三) 二六二六

嶋田 巨

株式会社フセラシ 会長

〒五七七一〇〇五三
大阪府東大阪市高井田二一七四
☎〇六(六七八九) 七二二一

山本 昌仁

株式会社たねや 社長

〒五二三八五五八
滋賀県近江八幡市宮内町三
☎〇七四九(四九) 五八八八

山本 英明

株式会社山本忠信商店 代表取締役

〒〇八〇一〇三〇一
北海道河東郡音更町木野西通七三
☎〇一五五(三二) 一一六八

米谷 春夫

株式会社マイヤ 社長

〒〇二一〇〇〇三
岩手県大船渡市盛町字木町一四一五
☎〇一九二(二七) 二二六五

吉田 信吾

株式会社カネキ吉田商店 代表取締役

〒九八六〇七三三
宮城県本吉郡南三陸町志津川大森町五四
☎〇二二六(四六) 三七四七

千田 満穂

宮城三菱自動車販売株式会社 会長

〒九八八〇〇四二
宮城県泉仙沼市本郷七一一
☎〇二二六(二三) 五五九五

日刊工業新聞社賞

篠原 敬治

しのはらプレスサービス株式会社 社長

〒二七三〇〇一六
千葉県船橋市潮見町三四二
☎〇四七(四三三) 七七六一

伊藤 澄夫

株式会社伊藤製作所 社長

〒五二一八〇六
三重県四日市市広永町一〇一
☎〇五九(三六四) 七一一一

馬場 均

株式会社コトブキ 相談役

〒一四四一〇〇三三
東京都大田区東横台五一九一
☎〇三(三七四五) 四五一一

阪本 一平

矢部川電気工業株式会社 社長

〒八三六〇八四七
福岡県大牟田市八江町六五番地
☎〇九四四(五三) 〇七四三

後藤 峰男

中日本炉工業株式会社 代表取締役

〒四九〇一一二〇三
愛知県あま市木折八畝割八
☎〇五二(四四四) 五一四一

守屋 京子

株式会社協同 代表取締役

〒三五八〇〇一一
埼玉県人間市下藤沢一〇九七一
☎〇四(二九六五) 四二二一

西 泰宏

西精工株式会社 社長

〒七七〇〇〇〇五
徳島県徳島市南光三町一一一四
☎〇八八(六三二) 七一一七

岩田 修造

株式会社岩田製作所 代表取締役

〒五〇一一三二六四
岐阜県関市池尻九三三一一
☎〇五七五(二三) 六一六一